

報道関係 各位

2016年9月10日

株式会社日本レースプロモーション

9月10日(土)～11日(日)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット

Race1予選・決勝結果速報

**予選: 中嶋 一貴(バンテリン チーム トムス)が、今季初のポールポジションを獲得**

**決勝: ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、スーパーフォーミュラデビュー5戦目にして初優勝!**

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット Race1の予選・決勝が、岡山県美作市 岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)にて開催されました。今大会は、10日(土)、11日(日)の各日において予選、決勝を行なう2レース制のレースフォーマットで行なわれ、予選は、1分14秒038のタイムでNo. 37 中嶋 一貴(バンテリン チーム トムス)がポールポジションを獲得しました。決勝は、3番グリッドのNo. 41 ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が絶好のスタート決めて、スーパーフォーミュラデビュー5戦目にして初優勝を飾りました。

予選は、20分間の全車走行によって争い、中嶋 一貴が、今季初のポールポジションを獲得しました。2位には、No.2 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)、3位には、ストフェル・バンドーンが続きました。

決勝は、30周、トータル111.09kmで行なわれ、ポールポジションの中嶋 一貴が、スタート時にグリッドを間違えるミスにより最後尾スタートとなり、ポールポジションが空いたところに3番グリッドのストフェル・バンドーンが絶好のスタートを決めてトップに立つと、後続を大きく引き離してチェッカーを受け、日本での初優勝を飾りました。2位には、国本 雄資、3位には、No.7 ナレイン・カーティケヤン(スノコ チーム ルマン)が続きました。

この結果、国本 雄資が、ドライバーポイントランキングで一躍首位に立ち、No.20 関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)はランキング2位、No.1 石浦 宏明(プロミュー/セルモ インギング)がランキング3位、そして今日の優勝者ストフェル・バンドーンが4位となり、ランキング上位の4人が3ポイント以内という大混戦のまま、明日のRace2を迎えることとなりました。上位陣の熾烈な戦いに、期待が集まります。

Race2は、明日9月11日(日)にノックアウト方式の予選後、決勝 51周、トータル188.85kmで行なわれます。

\* 記録の詳細は、添付「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第5戦 岡山国際サーキット Race1 予選・決勝正式結果」をご参照ください。



3位のグリッドから絶好のスタートによって、スーパーフォーミュラデビュー5戦目で初優勝を果たした  
No. 41 ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## 【ご参考】

### 1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

### 2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

### 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

\*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

### 3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

### 4. レース車両

#### ◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

#### ◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA R14A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**人気が酒造**

(※1)NREエンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h  
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムはレースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を、決められた時間内でタイムアタックを行い、スタート順を決定いたします。今大会では、Race1、Race2それぞれで異なる予選方式が採用されています。

10日(土)は時間予選で行われ、20分間の中で全車が走行し、各ドライバーのベストタイム順にスタート順を決定します。

11日(日)はノックアウト方式で行われ、全車が走行する20分間のQ1で11位~19位のスタート位置を決定し、上位10台がQ2に進みます。10分間のインターバル後、10分間のQ2を行い、1位~10位のスタート位置を決定します。

尚、ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

## 6. 決勝レース

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を10日(土)のRace1では、30周、トータル111.09kmを走行し、11日(日)のRace2では、51周、トータル188.85kmを走行し、順位を競います。

尚、Race2は、決勝レース中に必ず1度以上はタイヤ交換をしなければならない「タイヤ交換義務付け制」を規則で運用します。

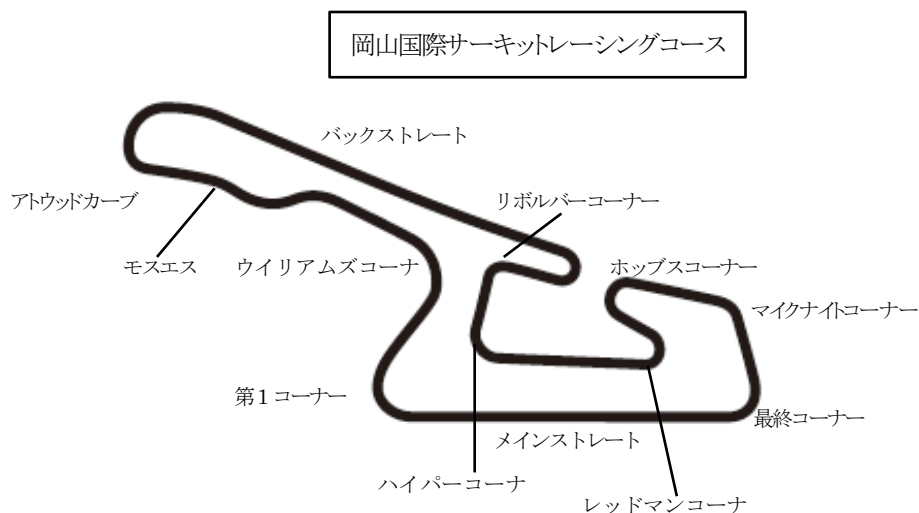
### 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたします。

## 7. 岡山国際サーキットレーシングコースについて

2 本の長いストレートと大小13のコーナーからなるテクニカルコースで、各コーナーには往年の名ドライバーの名前がついている。迫力ある見どころとしては、スタート直後の1コーナー、ヘアピンからリボルバーコーナーの下り、Wヘアピン(レッドマン・ホップスコーナー)。コースと観客の距離が近く、コース全長3.7km、レースの迫力をより身近に感じることができます。



Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦岡山国際サーキットレーシング大会 エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロスター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHEU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

## 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	18.5	8	1.5	-	5	4				
2	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	17	-	-	6	11	-				
3	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	16	-	<b>8</b>	3	6	1				
4	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	15.5	2	0.5	5	8	-				
5	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	15	6	-	1	3	<b>5</b>				
6	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	14	<b>11</b>	2	-	1	-				
7	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	11	-	-	8	2	1				
8	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	11	3	-	4	4	-				
9	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	11	4	4	1	-	2				
10	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	10.5	-	-	<b>10</b>	-	0.5				
11	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	5	5	-	-	-	-				
12	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	5	-	-	2	-	3				
13	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	5	-	2.5	-	-	2.5				
14	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3	-	3	-	-	-				
15	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	2.5	-	1	-	-	1.5				
16	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-	-	-	-				
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-	-				
	8	小林 可梦偉 Kamui Kobayashi	-	-	-	-	-	-				
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-	-				

\*表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロムュー/セルモ インギング)	33.5	8	6.5	3	11	5				
2	ITOHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	26.5	-	-	16	10	0.5				
3	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	25.5	2	0.5	13	10	-				
4	DDOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	19	6	2.5	-	3	7.5				
5	REAL RACING (リアルレーシング)	14	4	7	1	-	2				
6	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	13	10	2	-	1	-				
7	KONDO RACING (コンドーレーシング)	11	3	-	4	4	-				
8	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	5	5	-	-	-	-				
9	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	5	-	-	2	-	3				
10	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	3.5	1	1	-	-	1.5				
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-	-	-				

\*表中ポイント数字の **太字**:優勝

\*チームポイント:各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

## —開催概要—

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2016年9月10日(土) 公式予選/決勝レース [30周]  
2016年9月11日(日) 公式予選/決勝レース [51周]
- 主催 : 株式会社 岡山国際サーキット  
アイダクラブ(AC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 岡山県/美作市/岡山県観光連盟/美作国観光連盟/岡山県経済団体連絡協議会/  
岡山県商工会議所連合会/岡山県経営者協会/一般社団法人岡山経済同友会/  
岡山県中小企業団体中央会/岡山県商工会連合会/山陽新聞
- 同日開催 : 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第13戦&第14戦  
2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.10

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NINKI-ICHI**  
人気酒造



## 【TV放映予定】

### ● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。  
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、  
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[http://www.jsports.co.jp/motor/super\\_formula/](http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/)、 <http://www.superformula.net/>

### ● BSフジ 『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。  
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。  
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第5戦 岡山国際サーキット9/10～11	9/16(金) 23:05～24:00 (再放送:9/23(金) 23:30～24:25)
第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	放送日未定
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	放送日未定
総集編	放送日未定

### ● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送) 『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。  
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。  
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。  
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第5回のゲストは関口雄飛、井出有治。放送日は9/16(金)24:10～24:40(予定)。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 [http://otn.fujitv.co.jp/b\\_hp/914200066.html/](http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/)

### ● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。  
小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第6回のゲストは、舘 信秀、中嶋 悟。放送日は9/18(日)26:45～27:15。(フジテレビ・岡山放送)

9/26(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

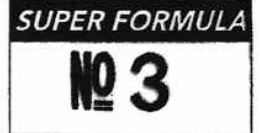
### ◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラの映像が流れます。





2016 Japanese SUPER FORMULA 9.10 SAT RACE 1  
 11 SUN RACE 2  
 CHAMPIONSHIP ROUND 5 OKAYAMA International Circuit



2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 5  
 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦

Race 1 公式予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダ'クラブ' (AC)

2016.09.10 発表 12:52

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：11:00:00  
 チェッカー時間：11:28:58  
 岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	タイム	Km/h	周回	トップ差
1	37	中嶋 一貴/Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1' 14.038	180.053	9/ 9	
2	2	国本 雄資/Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO - INGING SF14	1' 14.150	179.782	9/10	0.112
3	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	1' 14.157	179.765	12/13	0.119
4	40	野尻 智紀/Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	1' 14.325	179.358	12/13	0.287
5	10	塚越 広大/Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	1' 14.349	179.300	11/12	0.311
6	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	1' 14.464	179.023	13/13	0.426
7	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	1' 14.484	178.975	8/ 9	0.446
8	1	石浦 宏明/Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P. MU/CERUMO - INGING SF14	1' 14.500	178.937	13/13	0.462
9	64	中嶋 大祐/Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	1' 14.548	178.822	10/10	0.510
10	34	小暮 卓史/Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	1' 14.672	178.525	12/12	0.634
11	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	1' 14.675	178.518	9/10	0.637
12	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	1' 14.715	178.422	12/12	0.677
13	20	関口 雄飛/Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	1' 14.721	178.408	11/11	0.683
14	16	山本 尚貴/Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	1' 14.728	178.391	9/11	0.690
15	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	1' 14.771	178.288	9/10	0.733
16	18	中山 雄一/Yuichi Nakayama	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	1' 14.830	178.148	11/11	0.792
17	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1' 14.844	178.114	5/10	0.806
18	11	伊沢 拓也/Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	1' 15.033	177.666	11/11	0.995
----- 以上予選通過 -----								
19	※ 8	小林 可夢偉/Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	1' 24.127	158.460	3/ 3	10.089

本予選は、計測開始6分6秒時点で赤旗提示。残り時間13分49秒で再開した。(赤旗中断 11:06~11:15)

予選通過基準タイム (107%) 1' 19.221

参加台数：19台 出走台数：19台

審査委員長：TAKASHI MITARASHI

大会競技長：MASAHIRO USUKI

計時委員長：SHIGEKI TERAO

※No. 8は、2016年スーパーフォーミュラ選手権 統一規則 第27条10.(出場嘆願書の受理)により、決勝レースへの出走を認める。

大会審査委員会

審査委員長：TAKASHI MITARASHI

審査委員：KAZUO HIOKI

審査委員：YOSHITOMO ASADA



2016 Japanese SUPER FORMULA 9.10 SAT 1  
CHAMPIONSHIP ROUNDS 5 OKAYAMA International Circuit 11 SUN 2



2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 5

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦

Race 1 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイテッククラブ (AC)

2016.09.10 発表 17:44

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：15:57:09  
チェッカー時間：16:33:37  
岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	28	36' 28.567	170.551		1' 17.564	6
2	2	国本 雄資/Yuji Kunimoto	TOYOTA RI4A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	28	36' 33.362	170.178	4.795	1' 17.572	6
3	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA RI4A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	28	36' 38.422	169.787	9.855	1' 17.764	7
4	40	野尻 智紀/Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	28	36' 43.348	169.407	14.781	1' 17.737	7
5	10	塚越 広大/Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	28	36' 46.098	169.196	17.531	1' 17.410	6
6	64	中嶋 大祐/Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	28	36' 47.069	169.121	18.502	1' 17.965	6
7	1	石浦 宏明/Hiroaki Ishiura	TOYOTA RI4A	P. MU/CERUMO・INGING SF14	28	36' 48.349	169.023	19.782	1' 17.966	10
8	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA RI4A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	28	36' 50.580	168.853	22.013	1' 18.163	7
9	3	James Rossiter	TOYOTA RI4A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	28	36' 51.560	168.778	22.993	1' 18.067	9
10	16	山本 尚貴/Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	28	36' 53.599	168.622	25.032	1' 18.152	9
11	34	小暮 卓史/Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	28	36' 54.868	168.526	26.301	1' 18.263	6
12	36	Andre Lotterer	TOYOTA RI4A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	28	36' 56.528	168.400	27.961	1' 18.170	6
13	20	関口 雄飛/Yuhi Sekiguchi	TOYOTA RI4A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	28	37' 00.683	168.085	32.116	1' 18.389	11
14	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	28	37' 02.056	167.981	33.489	1' 18.434	10
15	4	William Buller	TOYOTA RI4A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	28	37' 09.221	167.441	40.654	1' 18.575	6
16	11	伊沢 拓也/Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	28	37' 09.759	167.400	41.192	1' 18.267	15
17	18	中山 雄一/Yuichi Nakayama	TOYOTA RI4A	KCMG Elyse SF14	28	37' 13.943	167.087	45.376	1' 18.680	7
18	8	小林 可夢偉/Kamui Kobayashi	TOYOTA RI4A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	28	37' 21.358	166.534	52.791	1' 17.856	6
----- 以上完走 -----										
● 37		中嶋 一貴/Kazuki Nakajima	TOYOTA RI4A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	22	37' 23.272	130.737	6 Laps	1' 17.353	14

※2016年スーパーフォーミュラ選手権 統一規則 第31条10. (START DELAYED2回)により2周減算の28周にて行った。

●No. 37は2016年スーパーフォーミュラ選手権 統一規則 第31条8. (START DELAYED原因車両)により最後尾スタートとした。(15:45)

参加台数：19台 出走台数：19台

ベストラップ： 37 中嶋 一貴/Kazuki Nakajima 1' 17.353 14/22 172.337km/h

審査委員長：TAKASHI MITARASHI

大会競技長：MASAHIRO USUKI

計時委員長：SHIGEKI TERAO